

鳥取砂丘 砂の美術館

第2期

4月26日オープン予定!

平成18年に「イタリア・ルネサンス」をテーマにして好評を博した「砂の美術館」が、いよいよ4月にリニューアル・オープンします。

第2期展示のテーマは「世界遺産・アジア編」。アジアに点在する素晴らしい建造物や彫刻が見事に砂で再現されて、一堂に会します。世界から選り抜きの砂の彫刻家の手による、壮大で美しい砂の芸術をぜひお楽しみください。

第2期展示テーマ 「世界遺産・アジア編 ～アジアの風にのって～」

会 期 ■ 平成20年4月26日(土)
～平成21年1月3日(土)

開催場所 ■ 鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり隣接地
開館時間 ■ 9:00～21:00(最終入館は閉館30分前)
観 覧 料 ■ 一般300円(団体250円)
小中高校生200円(団体150円)

※障害者手帳所持者は観覧無料です。
※天候などにより、作品が破損する場合があります。

第2期の主な展示作品

- パーミヤン大仏 (アフガニスタン)
 - 秦の始皇帝兵馬俑坑 (中国)
 - 万里の長城 (中国)
 - 姫路城 (日本)
 - アシュールナシパル (イラク)
 - エローラ石窟群 (インド)
 - タージ・マハル (インド)
- ※展示作品は変更される場合があります。



砂の彫刻

「砂」で造りあげられた彫刻。

素材が砂であるため崩れやすく、制作には高い技術が必要です。いつ崩れるともしれない危うさと、いずれは砂に戻るという刹那感が、一層見る人の心を動かします。

砂の彫刻ができるまで



1. 砂を入れるための型枠を作ります。



2. 型枠を組み、中に砂と水を入れて機械で締め固めます。



3. 型枠が完成したら、上から1段ずつ外しながら、コテ、ペインティングナイフ、スプーンなどで彫刻していきます。



4. 約2週間かけて完成！写真は第1期展示の天使像です。



第1期展示では「イタリア・ルネサンス」をテーマに制作しました。

プロデューサーからひとこと



鹿児島県
南さつま市在住
砂像彫刻家
ちゃえんかつひこ
茶園勝彦さん

鳥取砂丘に吹く風は、アジア大陸から吹く風です。また、今年は北京オリンピックが開催され、世界中からアジアが注目されるということもあり、「アジアの風によって」というテーマになりました。

「砂」という脆いものを使って彫刻することは、自然との格闘であり、共生であると考えて取り組んでいます。ぜひ会場で「アジアの風」とともに砂の彫刻を自然の中で体感していただければと思います。

会場周辺地図



問い合わせ先

市役所第2庁舎観光コンベンション推進課

TEL (0857) 20-3227 FAX (0857) 20-3046